

災害時に生きるネットワークとは～復興FMの取り組みから～

東日本大震災の被災時に、刻々と変わる支援のニーズとシーズをきめ細かく放送し、大きな貢献をした各地域の災害FM放送局。現在は「復興FM」として被災者の皆さんの心に勇気を与え続けています。災害時のメディアの重要性を痛感した私たちですが、非常時に有効に力を発揮するためには、平常時からのネットワークづくりが不可欠です。今回は、各地で奮闘する復興FMの中からお二人をお招きし、臨時災害放送局への番組支援を続ける佐々木健二氏のコーディネートで、災害支援のための地域メディアの働きと、そのネットワークの重要性について、これまでの実践報告を交えてお話いただきます。東日本大震災発生から3年。今後の災害支援のあり方のヒントになればと思います。

講師

事例1：高須賀 精一郎 氏

石巻コミュニティ放送株式会社 常務取締役

宮城県石巻市を中心とした可聴域 55,000 世帯の市民参加型地域コミュニティFM放送。震災直後は、助けを求めるメールが殺到。停電などを乗り越え、その時々に住民が一番必要とする情報を放送した。行政機関とも協力して、災害関係情報の伝達に注力。

事例2：渡辺 弘 氏

株式会社いわき市民コミュニティ放送 代表取締役

福島県いわき市の90%をカバーするいわき市民の生活に密着したコミュニティFM放送。阪神淡路大震災を機に設立された。東日本大震災直後は、スタッフが泊まり込みで24時間安否確認・生活情報・放射線測定情報などを送り続けた。

コーディネータ：佐々木 健二 氏

復興FMネットワークアドバイザー／株式会社ジェイクランプ 代表取締役

日時

2014年 3月12日（水） 15：00～17：00

開場：14:30 ※終了後に懇親会がございます。（1時間半ほど／ご希望の方のみ）

会場

PGF 生命 セミナールーム（裏面の地図をご参照ください）

<所在地> 東京都千代田区永田町 2-13-10 プルデンシャルタワー9階

定員

60名

参加費

当協会会員：2,000円／一般：5,000円／学生：1,000円

※懇親会は別途3,000円程度（ご希望の方のみ）

お問合せ

公益社団法人日本フィランソピー協会 担当：杉本 美奈子

TEL: 03-5205-7580 FAX:03-5205-7585 Email: office.2011@philanthropy.or.jp

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 244

<FAX・郵送でのお申込み>

お名前（ふりがな）	（ ）		
所属先（企業・団体・学校）			
ご連絡先電話番号	種 別	会員（¥2,000）・一般（¥5,000）・学生（¥1,000）	
Email アドレス	懇親会	参 加 ・ 不参加	

第292回定例セミナー会場のご案内

日時：2014年3月12日（水）15:00～17:00

PGF生命 セミナールーム

<所在地> 東京都千代田区永田町 2-13-10 プルデンシャルタワー9階



<最寄駅> 東京メトロ ●丸の内線 ●銀座線「赤坂見附駅」11番出口すぐ
●有楽町線 ●半蔵門線 ●南北線「永田町駅」6番出口9分